

DERWENT-ACC-NO: 2001-161010

DERWENT-WEEK: 200131

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Awning or blind esp. hinged
arm awning with drop tube at
 front end face edge of awning
so that at or in drop tube
 valance fabric shaft with
awning fabric is arranged to
 create sun

INVENTOR: BUECKERS, B

PRIORITY-DATA: 1999DE-1049215 (October 13, 1999) ,
1999DE-2023609 (October 13,
1999)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PAGES	PUB-DATE
LANGUAGE		MAIN-IPC
DE 29923609 U1		January 4, 2001
N/A	008	E04F 010/02
JP 2001123620 A		May 8, 2001
N/A	004	E04F 010/04
DE 19949215 A1		April 19, 2001
N/A	000	E04F 010/06
EP 1092820 A2		April 18, 2001
G	000	E04F 010/06

INT-CL (IPC): E04F010/02, E04F010/04 ,
E04F010/06

ABSTRACTED-PUB-NO: DE 29923609U

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The awning or blind is designed so that the valance fabric shaft (15) is driven by an electric motor (17) fed with current from an electric accumulator (18). The electric motor (17) is arranged in the drop tube (12). The electric motor (17) is switched on by a remote control. Solar cells (19) are fitted at the drop tube (12), for charging the accumulator (18). Contacts (20) of a charging cable of the accumulator are fitted at the drop tube (12), which with the travelling in of the drop tube (12) come in to contact with the charge contacts (21) of a voltage source.

USE - Awning for sun and vision protection.

ADVANTAGE - The travelling out of the valance awning fabric is made easier which in addition increases the attractiveness of such an awning or blind system.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows a schematic view of awning in the travelled out condition.

Drop tube 12

Fabric shaft 15

Electric motor 17

Carrying unit 1

Bearing plates 2

Rotatable winding shaft 3

Drive 5

Crank rod 6

Inclination adjustment unit 8

Drop arm 9

Swivel joint 11

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-123620

(P2001-123620A)

(43) 公開日 平成13年5月8日 (2001.5.8)

(51) Int.Cl.⁷

E 0 4 F 10/04

識別記号

F I

E 0 4 F 10/04

テーマコード(参考)

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-299488 (P2000-299488)

(22) 出願日 平成12年9月29日 (2000.9.29)

(31) 優先権主張番号 1 9 9 4 9 2 1 5 : 8

(32) 優先日 平成11年10月13日 (1999.10.13)

(33) 優先権主張国 ドイツ (DE)

(71) 出願人 591269480

シュミッツ・ヴェルケ ゲゼルシャフト

ミット ベシュレンクテル ハフツング

ウント コンパニー

ドイツ デー・48282 エムスデッテン

ハンゼンシュトラッセ 87

(72) 発明者 ベルント ブュッケルス

ドイツ連邦共和国 デー・48565 シュタ

インフルト プリュールシュトラッセ 26

(74) 代理人 100063130

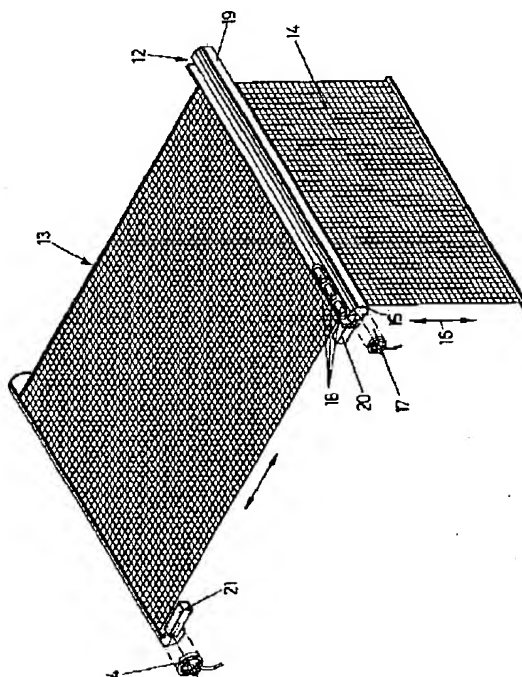
弁理士 伊藤 武久 (外1名)

(54) 【発明の名称】 日よけ

(57) 【要約】

【課題】 日よけ、特にジョイントアーム日よけにおいて、主として地面に対して垂直方向の日光遮蔽・目隠し（ブラインド）となる垂れ飾り・日よけ布を電気モータにより繰り出すことを可能とする。

【解決手段】 日よけのフロントエッジに1本の落しパイプを備え、当該落しパイプの傍ら、あるいは中に垂れ飾り・日よけ布を有した垂れ飾り・布用シャフトを備える日よけにおいて、垂れ飾り・布用シャフト（15）が蓄電池（18）から通電される電気モータ（17）を用いて駆動される。特に、落しパイプ（12）に、落しパイプ（12）を引き込んだ場合、電圧源のコンセント（21）と接触する、蓄電池（18）の充電ケーブルのコンセント（20）を装備する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 日よけのフロントエッジに落しパイプを備えた日よけ、特にジョイントアーム日よけであって、落しパイプの傍ら、あるいは内部に、主として地面に対して垂直方向の日光遮蔽・目隠しとなる垂れ飾り・日よけ布を繰り出すことを可能とするために、垂れ飾り・日よけ布を有した垂れ飾り・布用シャフトを備えている日よけにおいて、垂れ飾り・布用シャフト(15)が蓄電池(18)から給電される電気モータ(17)を用いて駆動されることを特徴とする日よけ。

【請求項2】 電気モータ(17)が落しパイプ(12)に配設されていることを特徴とする請求項1に記載の日よけ。

【請求項3】 電気モータ(17)が遠隔操作により作動可能であることを特徴とする請求項1に記載の日よけ。

【請求項4】 蓄電池(18)の充電のために落しパイプ(12)にソーラ電池(ソーラパネル19)を備えていることを特徴とする請求項1に記載の日よけ。

【請求項5】 落しパイプ(12)に蓄電池(18)の充電ケーブルの接触部(20)が配設されており、当該コンセントが落しパイプ(12)を引き込んだ際、電圧源の充電用接触部(21)と接触することを特徴とする請求項1に記載の日よけ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、日よけのフロントエッジに1本の落しパイプを備えた日よけ(オーニング)、特にジョイントアーム日よけに関するものであり、当該日よけは、落しパイプの傍らあるいは内部に、主として地面に対して垂直方向の日光遮蔽・目隠し(ブラインド)となる垂れ飾り・日よけ布を電気モータにより繰り出すことを可能とするために、垂れ飾り・日よけ布を有した垂れ飾り・布用シャフトを備えている。

【0002】

【従来の技術】この種の日よけは、垂直に延在している、繰り出し可能な垂れ飾りが、補足的な目隠しとなり、また斜めに打ち付ける風雨に対する有効な防護となることにより、著しい追加的利益が生まれるため、卓越していると実証済みである。従来の方法ではこの種の装置の垂れ飾り・日よけ布は手動ハンドルを用いて繰り出される。

【0003】そのような手動ハンドルが邪魔にならないように落しパイプ近傍に取り付けられていなければならないとすると、手動ハンドルを別個に上方に持ち上げねばならず、面倒である。更に、繰り出した状態で自由に通り抜けることができるように、落しパイプは比較的高くに延びているので、子供や背の低い人々は手動ハンドルを操作するのが困難な場合がある。

【0004】建物に接続したケーブルを介して電流を供給される電気モータを用いて、垂れ飾り・日よけ布を繰り出すことも既に公知である。この種のケーブルは普通、目に見える。従って視覚的に魅力あるものではない。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】以上から本発明は、垂れ飾り・日よけ布の繰り出しを容易にし、それによってそのような日よけ装置の美観をより高めることを課題とする。

【課題を解決するための手段】この課題は、本発明に従い、垂れ飾り・布用シャフトを蓄電池から給電された電気モータを用いて作動させることによって解決される。当該電気モータが落しパイプの中に備え付けられていれば有利である。

【0006】これによりケーブルの保管の必要がなくなり、事情によってはやや面倒な、手動による操作から解放される。更に、従来の電気モータへの配線供給の場合のようなケーブル引き込みのための費用も不要である。

【0007】その際、建物内にスイッチを取り付けるのは無理なので、リモートコントロールにより操作を行えば好都合である。勿論、これにより更に、付加的な操作の快適性も得られる。

【0008】蓄電池の充電のために、落しパイプ近傍にソーラ電池を取り付けることができる。あるいはその代わりに、落しパイプ近傍に、蓄電池の充電ケーブルの接触部(例えばプラグ)を装備することにより、蓄電池の充電を行えば特に好都合である。当該充電ケーブルの接触部は、落しパイプを引き込んだ場合、電圧源の充電用接触部(例えばコンセント)と接触する。この充電用接触部は、例えば箱型日よけのケースの中、あるいは基本的には建物の外壁の近くに配設することが可能である。

【0009】

【発明の実施の形態】以下に、本発明を好適な実施例を基に、図面を用いて詳細に説明する。図面に示された日よけは、建物の外壁等に固定されるべき支持装置1を有している。当該支持装置は、支承プレート2、3に回転可能に支承された巻き付けシャフト4を備えている。この巻き付けシャフトは、公知の方法により、つまり図1に示されるように、自動制動式伝動装置5によって回転駆動可能である。またこの伝動装置5は、取り外し可能なクランクロッド6を介して作動可能である。勿論、クランクロッド6を備えた上記伝動装置5の代わりに、一般に広く知られているように、電気モータ駆動装置、ベルト伝動装置等を装備することもできる。更に、支承プレート2と3の間に、支持装置1の部材として、正方形断面形状の支持パイプ7が取り付けられている。このパイプに、所謂はさみ形態の落しアーム9がそれぞれ支持と傾斜角の調整のための装置8によって取り付けられて

いる。これら落としアーム9はそれぞれ中央で分けられ、垂直軸線を有する旋回ジョイント10を備える。落としアーム9はそれぞれ同じタイプの旋回ジョイント11によって対応する装置8に接続され、図示されていないが、対応する旋回ジョイントによって落としパイプ12に接続されている。その結果、当該落としパイプ12は巻き付けシャフト4と共通する平面において移動させることができるが、この平面に対し垂直にはいかなる動きもできないこととなる。

【0010】巻き付けシャフト4に矩形の日よけ布13が固定され、当該日よけ布は巻き付けシャフト4の既述の回転によって当該シャフト4に巻き付けられたり、あるいは当該シャフトからほどかれるようにすることができる。更に、日よけ布13は一般に広く知られている方法で落としパイプ12に固定されている。

【0011】落としパイプ12には垂れ飾り・布用シャフト15のまわりに垂れ飾り・日よけ布14が、巻き上げたり、繰り出したり可能に(矢印16)備えられている。垂れ飾り・布用シャフト15は、蓄電池18を介して通電される電気モータ17により作動される。

【0012】この蓄電池18は、落としパイプ16の前面に、多数のソーラ電池を備えてなる1枚のソーラパネル

19を配設することにより、太陽エネルギーにより通電される。

【0013】しかしながら、落としパイプ12に嵌め込み接触部20を装備しているのが望ましい。落としアーム乃至ジョイントアーム9を引き込んだ場合、つまり日よけ布13を完全にしまった状態では、巻き付けシャフト4にある対応する嵌め込み接触部21において電氣的接続を作り出しながら落としパイプは引き込まれる。その結果、日よけが稼動していない状態において、蓄電池18を充電することが可能であり、次の繰り出しの際、再び新たに充電された蓄電池を使用できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この種の日よけの繰り出した状態の概略図である。

【図2】垂れ飾り・日よけ布の駆動モータの電流供給を具体的に説明するための簡略図である。

【符号の説明】

4 巻き付けシャフト

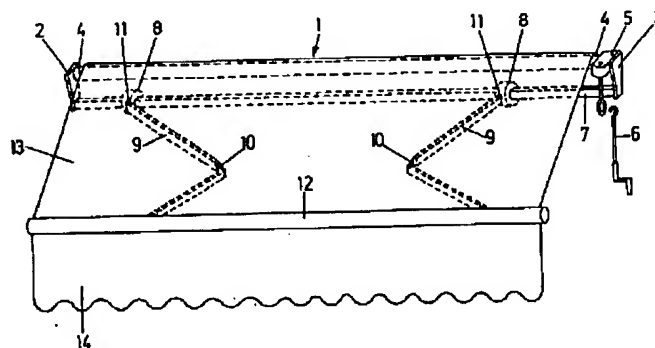
9 落としアーム

12 落としパイプ

13 日よけ布

15 垂れ飾り・布用シャフト

【図1】



【図2】

